

報道関係各位

株式会社理研ジェネシス

理研ジェネシス、三井情報との協業により がんクリニカルシーケンス検査の「OncoPrime Basic」提供開始

株式会社理研ジェネシス（本社：東京都品川区、代表取締役社長 近藤 直人 以下「理研ジェネシス」）は、三井情報株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 小日山 功 以下「三井情報」）とのゲノム医療における協業により、京都大学医学部附属病院からの受託に基づき、がんクリニカルシーケンス検査「OncoPrime Basic」の提供を開始しますのでお知らせします。

三井情報と京都大学医学部附属病院により、日本で初めて臨床導入された網羅的がん遺伝子解析「OncoPrime（オンコプライム）」を代表とした、がんクリニカルシーケンス検査によって、遺伝子情報解析技術を活用し個々の患者様に適した治療を行う個別化医療の研究と実用化が行われてきました。

理研ジェネシスは、国内で初めて CLIA^{*1}を取得した実績を持ち品質管理の強みを有しており、国際的な品質保証基準に準拠した信頼性の高い検査をすることが可能です。また、複数の研究機関との連携により、「遺伝子診断パネル^{*2}」を用いた患者様の検体（がん組織）の網羅的な遺伝子解析、および治療方針の決定や投薬の判断などへの活用を目指した研究を実施してきました。

このたび、理研ジェネシスと三井情報は、業務提携契約を締結し、新たながんクリニカルシーケンス検査受託サービス「OncoPrime Basic」を開始します。本サービスでは、検体の測定から解析までを国内で実施するため患者様へのより迅速な検査結果報告が可能となります。

「OncoPrime Basic」は7月から、京都大学医学部附属病院で「OncoPrime」の新ラインアップとして開始し、理研ジェネシスが受付窓口となります。既に「OncoPrime」を採用している国立大学病院4施設のほか、新たに6施設を追加した10施設での順次開始が予定されています。

本業務提携において、理研ジェネシスは次世代シーケンサーによる遺伝子測定技術を、三井情報はデータ解析技術を持ち寄り、それぞれの強みを活かした新たながんクリニカルシーケンス検査受託サービスを協力して推進します。

理研ジェネシスは、シスメックスグループとして患者様一人ひとりに適した医療の実現に向け、新たながん診断法を一日も早く患者さんにお届けすることで、医療の発展と進化に貢献していきます。

【注釈】

※1 CLIA（Clinical Laboratory Improvement Amendment；米国臨床検査室改善法）：
呼称“クリア”

米国の臨床検査室改善法で検査の精度管理を行うもの。その認証を受けたラボは、定期的な査察などによって品質維持を図ることが求められ、検査における品質管理を保証するものとなる。

※2 遺伝子診断パネル：

診療上重要な複数の遺伝子の変異、増幅や融合を同時に解析することができるアッセイキット。国立がん研究センターが中心となり開発された遺伝子診断パネルは、日本人に特徴的な遺伝子変異を適切に診断できるように作られている。

以上

本件に関するお問合せ先：
株式会社理研ジェネシス 営業・企画部
Eメール：info2@rikengenesi.jp
電話番号：03-5759-6042